

## 当ファンの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／債券
信託期間	無期限（2003年3月14日設定）
運用方針	豪ドル債券インカムマザーファンド受益証券への投資を通じて、主として高格付の豪ドル建ての公社債に実質的な投資を行います。マザーファンド受益証券の組入比率は高位を維持することを基本とします。デュレーション調整等のため、債券先物取引等を利用する場合があります。実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。
主要運用対象	ベビー・豪ドル債券インカムマザーファンド受益証券を主要投資対象とします。 マザーファンド 豪ドル建ての公社債を主要投資対象とします。
主な組入制限	ベビー 外貨建資産への実質投資割合に制限を設けません。 マザーファンド 外貨建資産への投資割合に制限を設けません。
分配方針	経費等控除後の利子等収益および売買益（評価益を含みます。）等の全額を分配対象額とし、分配金額は、原則として、配当等収益や分配対象額の水準等を考慮し、安定した分配を継続することをめざします。ただし、分配対象収益が少額の場合には分配を行わないことがあります。また、基準価額水準、運用状況等によっては安定した分配とならないことがあります。

## 運用報告書（全体版）

三菱UFJ  
豪ドル債券インカムオーブン

愛称：夢実月



第264期（決算日：2025年4月8日）

第265期（決算日：2025年5月8日）

第266期（決算日：2025年6月9日）

第267期（決算日：2025年7月8日）

第268期（決算日：2025年8月8日）

第269期（決算日：2025年9月8日）



## 受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、お手持ちの「三菱UFJ 豪ドル債券インカムオーブン」は、去る9月8日に第269期の決算を行いましたので、法令に基づいて第264期～第269期の運用状況をまとめてご報告申し上げます。

今後とも引き続きお引き立て賜りますようお願い申し上げます。



## 三菱UFJアセットマネジメント

東京都港区東新橋一丁目9番1号

ホームページ <https://www.am.mufg.jp/>

当運用報告書に関するお問い合わせ先

お客様専用  
フリーダイヤル

0120-151034

（受付時間：営業日の9:00～17:00、  
土・日・祝日・12月31日～1月3日を除く）

お客様のお取引内容につきましては、お取扱いの販売会社にお尋ねください。

## 本資料の表記にあたって

- 原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。
- 一印は組入れまたは売買がないことを示しています。

## ○最近30期の運用実績

決算期	基準価額 (分配落)	基準価額				債組入比率	債券先物比率	純資産額
		税分	込配	み金	期騰落			
240期(2023年4月10日)	円 3,941		円 20		% △ 0.7		% 97.1	% —
241期(2023年5月8日)	4,039		20		3.0		96.7	—
242期(2023年6月8日)	4,045		20		0.6		97.9	△1.4
243期(2023年7月10日)	4,063		10		0.7		97.3	△1.4
244期(2023年8月8日)	4,064		10		0.3		97.1	—
245期(2023年9月8日)	4,046		10		△ 0.2		97.0	—
246期(2023年10月10日)	4,096		10		1.5		96.7	—
247期(2023年11月8日)	4,124		10		0.9		98.1	—
248期(2023年12月8日)	4,067		10		△ 1.1		97.5	—
249期(2024年1月9日)	4,173		10		2.9		96.6	—
250期(2024年2月8日)	4,186		10		0.6		97.7	—
251期(2024年3月8日)	4,242		10		1.6		97.7	—
252期(2024年4月8日)	4,308		10		1.8		97.4	—
253期(2024年5月8日)	4,384		10		2.0		97.8	—
254期(2024年6月10日)	4,445		10		1.6		96.5	—
255期(2024年7月8日)	4,642		10		4.7		97.9	—
256期(2024年8月8日)	4,131		10		△10.8		98.1	—
257期(2024年9月9日)	4,161		10		1.0		97.9	—
258期(2024年10月8日)	4,327		10		4.2		97.9	—
259期(2024年11月8日)	4,381		10		1.5		97.8	—
260期(2024年12月9日)	4,155		10		△ 4.9		98.0	—
261期(2025年1月8日)	4,248		10		2.5		98.3	—
262期(2025年2月10日)	4,128		10		△ 2.6		98.4	—
263期(2025年3月10日)	4,034		10		△ 2.0		96.9	—
264期(2025年4月8日)	3,894		10		△ 3.2		96.6	—
265期(2025年5月8日)	4,040		10		4.0		96.4	—
266期(2025年6月9日)	4,124		5		2.2		97.7	—
267期(2025年7月8日)	4,184		5		1.6		98.1	—
268期(2025年8月8日)	4,217		5		0.9		98.6	—
269期(2025年9月8日)	4,267		5		1.3		97.2	—
								33,419

(注) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注) 当ファンドの値動きを表す適切な指標が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

(注) 「債券先物比率」は買建比率-売建比率。

## ○当作成期中の基準価額と市況等の推移

決 算 期	年 月 日	基 準 価 額		債組入比率	債券率	債先物比率	券率
		騰	落				
第264期	(期 首) 2025年3月10日	円 4,034	% —	% 96.9			% —
	3月末	4,082	1.2	94.6			—
	(期 末) 2025年4月 8日	3,904	△3.2	96.6			—
第265期	(期 首) 2025年4月 8日	3,894	—	96.6			—
	4月末	3,989	2.4	96.2			—
	(期 末) 2025年5月 8日	4,050	4.0	96.4			—
第266期	(期 首) 2025年5月 8日	4,040	—	96.4			—
	5月末	4,045	0.1	96.4			—
	(期 末) 2025年6月 9日	4,129	2.2	97.7			—
第267期	(期 首) 2025年6月 9日	4,124	—	97.7			—
	6月末	4,161	0.9	96.8			—
	(期 末) 2025年7月 8日	4,189	1.6	98.1			—
第268期	(期 首) 2025年7月 8日	4,184	—	98.1			—
	7月末	4,228	1.1	98.5			—
	(期 末) 2025年8月 8日	4,222	0.9	98.6			—
第269期	(期 首) 2025年8月 8日	4,217	—	98.6			—
	8月末	4,220	0.1	97.5			—
	(期 末) 2025年9月 8日	4,272	1.3	97.2			—

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

# 運用経過

第264期～第269期：2025年3月11日～2025年9月8日

## 〉当作成期中の基準価額等の推移について

### 基準価額等の推移

(円)

(百万円)

4,400

200,000

4,200

150,000

4,000

100,000

3,800

50,000

3,600

0

2025/3/10

2025/5/9

2025/7/4

2025/9/2

分配金再投資基準価額：左目盛

基準価額：左目盛

純資産総額：右目盛

第264期首 4,034円

第269期末 4,267円

既払分配金 40円

騰 落 率 6.8%

(分配金再投資ベース)

※分配金再投資基準価額は、分配金が支払われた場合、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

※実際のファンドにおいては、分配金を再投資するかどうかについては、受益者のみなさまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、各個人の受益者のみなさまの損益の状況を示すものではない点にご留意ください。

**基準価額の動き**

基準価額は期間の初めに比べ6.8%（分配金再投資ベース）の上昇となりました。

**基準価額の主な変動要因****上昇要因**

豪ドルが対円で上昇したことや、債券利子収益を享受したこと、豪州金利が低下したことなどが基準価額の上昇要因となりました。

第264期～第269期：2025年3月11日～2025年9月8日

## ▶投資環境について

### ▶債券市況

#### 豪州金利は低下しました。

豪州金利は、米国の相互関税賦課によるグローバル経済の減速懸念の高まりなどを背景に低下して始まりました。その後は、米中関税協議の進展期待や米国における財政悪化懸念の高まり、2025年7月の豪州準備銀行（RBA）会合において、RBAが利下げ実施という市場予想に反して政策金利を据え置いたことなどを背景に、金利が上昇する局面もありました

が、豪州におけるインフレ鈍化や8月のRBA会合における利下げ実施などを背景に、豪州金利は低下しました。

### ▶為替市況

#### 豪ドルは対円で上昇しました。

米中関税協議の進展期待によるリスクセンチメントの改善や、豪州準備銀行（RBA）の利下げに対する慎重姿勢などから、豪ドルは対円で上昇しました。

## ▶当該投資信託のポートフォリオについて

### ▶三菱UFJ 豪ドル債券インカムオープン

主要投資対象である豪ドル債券インカムマザーファンド受益証券への投資を通じて、豪ドル建ての信用度の高い公社債を高位に組み入れた運用を行いました。

なっています。

### ▶豪ドル債券インカムマザーファンド

期間を通じて、豪ドル建ての債券現物の組入比率は高位を維持しました。

#### 残存期間構成

イールドカーブの傾きに注目するとともに、デュレーションを短期化する局面では短期ゾーンの組入比率を高めとし、長期化する局面では中長期ゾーンの組入比率を高めとしました。

#### デュレーション（平均回収期間や金利感応度）

ファンド全体のデュレーションは、豪州や米国などの金融政策、インフレ動向などを注視しながら操作しました。結果、期間末のデュレーションは3.2年程度と

#### 債券種別構成

豪州国債に対する相対的なスプレッド（利回り格差）動向を睨みながら、債券種別構成を調整しました。当期間は、国債の組入比率を引き上げ、非国債の組入比率を引き下げました。

## 〉当該投資信託のベンチマークとの差異について

当ファンドの値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。従って、ベンチマークおよび参考指数との対比は表記できません。

## 〉分配金について

収益分配金につきましては、基準価額水準、市況動向、分配対象額の水準等を勘案し、次表の通りとさせていただきました。収益分配に充てなかった利益（留保益）につきましては、信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づいて運用します。

### 分配原資の内訳

(単位：円、1万口当たり、税込み)

項目	第264期 2025年3月11日～ 2025年4月8日	第265期 2025年4月9日～ 2025年5月8日	第266期 2025年5月9日～ 2025年6月9日	第267期 2025年6月10日～ 2025年7月8日	第268期 2025年7月9日～ 2025年8月8日	第269期 2025年8月9日～ 2025年9月8日
当期分配金 (対基準価額比率)	<b>10</b> (0.256%)	<b>10</b> (0.247%)	<b>5</b> (0.121%)	<b>5</b> (0.119%)	<b>5</b> (0.118%)	<b>5</b> (0.117%)
当期の収益	6	10	5	5	5	5
当期の収益以外	3	—	—	—	—	—
翌期繰越分配対象額	351	352	358	362	368	373

(注) 対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

# 今後の運用方針

(作成対象期間末での見解です。)

## ▶ 三菱UFJ 豪ドル債券インカムオーブン

豪ドル債券インカムマザーファンド受益証券の組入比率を高位に保ち、マザーファンドのポートフォリオの構成に近づけた状態を維持する方針です。

## ▶ 豪ドル債券インカムマザーファンド組入比率

安定した利子収益の確保をめざし、引き続き債券現物の高位組み入れを維持する方針です。

## デュレーション（平均回収期間や金利感応度）

豪州の金融政策の方向性、グローバルな景気・インフレ動向を睨みながら、機動的に操作する方針です。

## 残存期間構成

デュレーションを長期化する局面では中長期ゾーンを、短期化する局面では短期ゾーンの組入比率を高めとする方針です。

## 債券種別構成

国債に対する相対的なスプレッド（利回り格差）動向や市場のボラティリティ変動要因などに注視し、必要に応じて組入比率を調整する方針です。

2025年3月11日～2025年9月8日

## 〉1万口当たりの費用明細

項目	第264期～第269期		項目の概要
	金額(円)	比率(%)	
(a)信託報酬	24	0.576	(a)信託報酬＝作成期中の平均基準価額×信託報酬率×(作成期中の日数÷年間日数)
(投信会社)	(11)	(0.258)	ファンドの運用・調査、受託会社への運用指図、基準価額の算出、目論見書等の作成等の対価
(販売会社)	(12)	(0.291)	交付運用報告書等各種書類の送付、顧客口座の管理、購入後の情報提供等の対価
(受託会社)	(1)	(0.027)	ファンドの財産の保管および管理、委託会社からの運用指図の実行等の対価
(b)その他費用	0	0.006	(b)その他費用＝作成期中のその他費用÷作成期中の平均受益権口数
(保管費用)	(0)	(0.004)	有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用
(監査費用)	(0)	(0.002)	ファンドの決算時等に監査法人から監査を受けるための費用
(その他)	(0)	(0.000)	信託事務の処理等に要するその他諸費用
合計	24	0.582	

作成期中の平均基準価額は、4,118円です。

(注) 作成期間の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

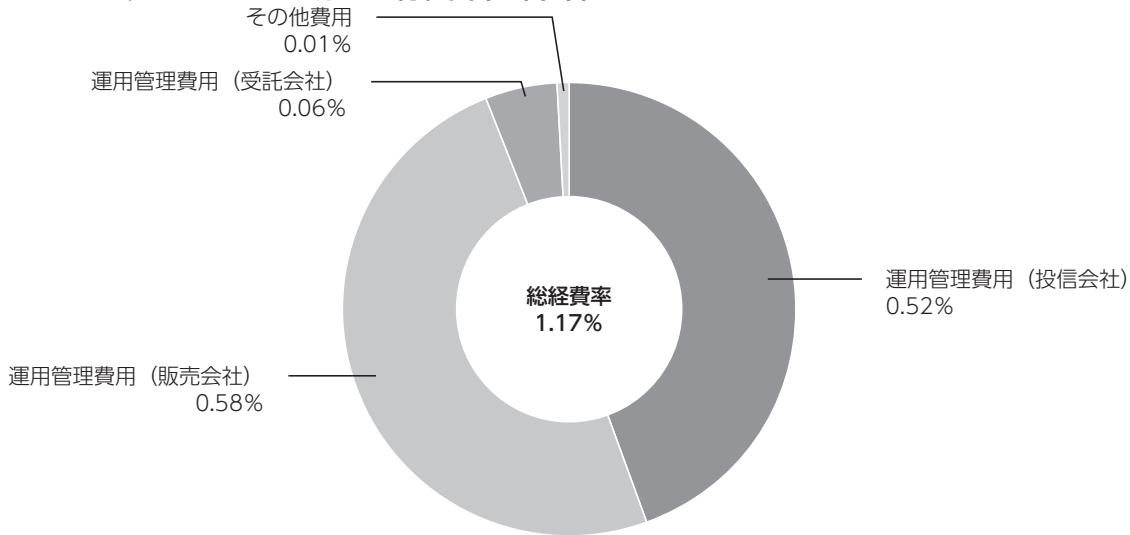
(注) その他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

## (参考情報)

### ■ 総経費率

当座成対象期間の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を作成期中の平均受益権口数に作成期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した**総経費率（年率）は1.17%です。**



(注) 費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 前記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

## ○売買及び取引の状況

(2025年3月11日～2025年9月8日)

## 親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘 柄	第264期～第269期			
	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
豪ドル債券インカムマザーファンド	千口 7,729	千円 10,312	千口 2,052,361	千円 2,806,993

## ○利害関係人との取引状況等

(2025年3月11日～2025年9月8日)

## 利害関係人との取引状況

&lt;三菱UFJ 豪ドル債券インカムオーブン&gt;

該当事項はございません。

&lt;豪ドル債券インカムマザーファンド&gt;

区 分	第264期～第269期					
	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B	$\frac{B}{A}$	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	$\frac{D}{C}$
為替直物取引	百万円 —	百万円 —	% —	百万円 2,891	百万円 861	% 29.8

平均保有割合 96.0%

※平均保有割合とは、親投資信託の残存口数の合計に対する当該ペーパーファンドの親投資信託所有口数の割合。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは三菱UFJ銀行、三菱UFJ信託銀行、モルガン・スタンレーMUF G証券です。

## ○組入資産の明細

(2025年9月8日現在)

## 親投資信託残高

銘 柄	第263期末		第269期末	
	口 数	口 数	評 価 額	
豪ドル債券インカムマザーファンド	千口 25,514,088	千口 23,469,456	千円 33,340,709	

## ○投資信託財産の構成

(2025年9月8日現在)

項目	第269期末	
	評価額	比率
豪ドル債券インカムマザーファンド	千円 33,340,709	% 99.4
コール・ローン等、その他	196,414	0.6
投資信託財産総額	33,537,123	100.0

(注) 豪ドル債券インカムマザーファンドにおいて、作成期末における外貨建純資産(34,725,985千円)の投資信託財産総額(35,812,807千円)に対する比率は97.0%です。

(注) 外貨建資産は、作成期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、作成期末における邦貨換算レートは以下の通りです。

1 オーストラリアドル=97.31円		
--------------------	--	--

## ○資産、負債、元本及び基準価額の状況

項目	第264期末	第265期末	第266期末	第267期末	第268期末	第269期末
	2025年4月8日現在	2025年5月8日現在	2025年6月9日現在	2025年7月8日現在	2025年8月8日現在	2025年9月8日現在
(A) 資産	円	円	円	円	円	円
コール・ローン等	32,595,761,338	33,586,004,193	33,932,160,436	33,936,311,503	33,672,303,737	33,537,123,013
豪ドル債券インカムマザーファンド(評価額)	32,382,102,225	33,378,380,926	33,761,919,465	33,718,646,771	33,476,286,864	33,340,709,463
未収入金	103,066,643	99,862,142	58,046,808	91,077,454	82,463,028	82,428,640
未収利息	1,399	1,369	1,424	1,611	1,444	1,446
(B) 負債	132,999,670	129,269,177	90,317,663	137,504,268	114,603,368	117,575,888
未払収益分配金	83,368,786	82,806,224	41,030,177	40,391,264	39,784,060	39,156,772
未払解約金	18,274,397	14,904,478	15,228,754	66,060,072	41,427,973	45,565,879
未払信託報酬	31,231,571	31,432,755	33,923,051	30,929,226	33,258,313	32,722,357
その他未払費用	124,916	125,720	135,681	123,706	133,022	130,880
(C) 純資産総額(A-B)	32,462,761,668	33,456,735,016	33,841,842,773	33,798,807,235	33,557,700,369	33,419,547,125
元本	83,368,786,141	82,806,224,763	82,060,355,956	80,782,529,012	79,568,121,376	78,313,544,612
次期繰越損益金	△50,906,024,473	△49,349,489,747	△48,218,513,183	△46,983,721,777	△46,010,421,007	△44,893,997,487
(D) 受益権総口数	83,368,786,141口	82,806,224,763口	82,060,355,956口	80,782,529,012口	79,568,121,376口	78,313,544,612口
1万口当たり基準価額(C/D)	3,894円	4,040円	4,124円	4,184円	4,217円	4,267円

## ○損益の状況

項目	第264期	第265期	第266期	第267期	第268期	第269期
	2025年3月11日～ 2025年4月8日	2025年4月9日～ 2025年5月8日	2025年5月9日～ 2025年6月9日	2025年6月10日～ 2025年7月8日	2025年7月9日～ 2025年8月8日	2025年8月9日～ 2025年9月8日
(A) 配当等収益	円 36,744	円 38,147	円 872,997	円 35,976	円 42,307	円 40,251
受取利息	36,744	38,147	41,325	35,976	42,307	40,251
その他収益金	—	—	831,672	—	—	—
(B) 有価証券売買損益	△ 1,054,228,870	1,326,707,477	760,428,046	555,045,689	339,129,171	462,741,117
売買益	3,506,824	1,331,610,525	762,734,282	560,752,398	344,742,542	465,082,455
売買損	△ 1,057,735,694	△ 4,903,048	△ 2,306,236	△ 5,706,709	△ 5,613,371	△ 2,341,338
(C) 信託報酬等	△ 31,356,487	△ 31,558,475	△ 34,058,732	△ 31,052,932	△ 33,391,335	△ 32,853,237
(D) 当期損益金(A+B+C)	△ 1,085,548,613	1,295,187,149	727,242,311	524,028,733	305,780,143	429,928,131
(E) 前期繰越損益金	△ 7,051,348,002	△ 8,150,438,130	△ 6,865,504,182	△ 6,075,847,152	△ 5,496,798,617	△ 5,141,879,776
(F) 追加信託差損益金	△42,685,759,072	△42,411,432,542	△42,039,221,135	△41,391,512,094	△40,779,618,473	△40,142,889,070
(配当等相当額)	( 2,913,838,337)	( 2,894,282,337)	( 2,868,346,027)	( 2,823,847,701)	( 2,781,661,054)	( 2,738,113,675)
(売買損益相当額)	(△45,599,597,409)	(△45,305,714,879)	(△44,907,567,162)	(△44,215,359,795)	(△43,561,279,527)	(△42,881,002,745)
(G) 計(D+E+F)	△50,822,655,687	△49,266,683,523	△48,177,483,006	△46,943,330,513	△45,970,636,947	△44,854,840,715
(H) 収益分配金	△ 83,368,786	△ 82,806,224	△ 41,030,177	△ 40,391,264	△ 39,784,060	△ 39,156,772
次期繰越損益金(G+H)	△50,906,024,473	△49,349,489,747	△48,218,513,183	△46,983,721,777	△46,010,421,007	△44,893,997,487
追加信託差損益金	△42,685,759,072	△42,411,432,542	△42,039,221,135	△41,391,512,094	△40,779,618,473	△40,142,889,070
(配当等相当額)	( 2,913,911,192)	( 2,894,385,846)	( 2,868,434,812)	( 2,823,896,651)	( 2,781,795,773)	( 2,738,179,960)
(売買損益相当額)	(△45,599,670,264)	(△45,305,818,388)	(△44,907,655,947)	(△44,215,408,745)	(△43,561,414,246)	(△42,881,069,030)
分配準備積立金	19,328,621	21,371,576	70,049,746	107,759,729	148,327,887	188,106,406
繰越損益金	△ 8,239,594,022	△ 6,959,428,781	△ 6,249,341,794	△ 5,699,969,412	△ 5,379,130,421	△ 4,939,214,823

(注) (B) 有価証券売買損益は各期末の評価換えによるものを含みます。

(注) (C) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注) (F) 追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

## &lt;注記事項&gt;

①作成期首(前作成期末)元本額 83,821,074,190円

作成期中追加設定元本額 725,790,130円

作成期中一部解約元本額 6,233,319,708円

また、1口当たり純資産額は、作成期末0.4267円です。

②純資産総額が元本額を下回っており、その差額は44,893,997,487円です。

③分配金の計算過程

項目	2025年3月11日～ 2025年4月8日	2025年4月9日～ 2025年5月8日	2025年5月9日～ 2025年6月9日	2025年6月10日～ 2025年7月8日	2025年7月9日～ 2025年8月8日	2025年8月9日～ 2025年9月8日
費用控除後の配当等収益額	53,593,229円	84,996,682円	89,876,406円	79,155,227円	82,097,243円	81,267,645円
費用控除後・繰越欠損金填後の有価証券売買等損益額	—円	—円	—円	—円	—円	—円
収益調整金額	2,913,911,192円	2,894,385,846円	2,868,434,812円	2,823,896,651円	2,781,795,773円	2,738,179,960円
分配準備積立金額	49,104,178円	19,181,118円	21,203,517円	68,995,766円	106,014,704円	145,995,533円
当ファンドの分配対象収益額	3,016,608,599円	2,998,563,646円	2,979,514,735円	2,972,047,644円	2,969,907,720円	2,965,443,138円
1万口当たり収益分配対象額	361円	362円	363円	367円	373円	378円
1万口当たり分配金額	10円	10円	5円	5円	5円	5円
収益分配金額	83,368,786円	82,806,224円	41,030,177円	40,391,264円	39,784,060円	39,156,772円

## 〇分配金のお知らせ

	第264期	第265期	第266期	第267期	第268期	第269期
1万口当たり分配金（税込み）	10円	10円	5円	5円	5円	5円

- 分配金は、分配後の基準価額と個々の受益者の個別元本との差により、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」に分かれます。
- 分配後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合は、全額が普通分配金となります。分配後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）となり、残りの額が普通分配金となります。
- 元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時に個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。

\*三菱UFJアセットマネジメントでは本資料のほかに当ファンドに関する情報等の開示を行っている場合があります。詳しくは、取り扱い販売会社にお問い合わせくださいか、当社ホームページ（<https://www.am.mufg.jp/>）をご覧ください。

### [お知らせ]

投資信託及び投資法人に関する法律第14条の改正に伴い、記載変更を行い、信託約款に所要の変更を行いました。  
(2025年4月1日)

## 豪ドル債券インカムマザーファンド

## 《第12期》決算日2025年3月10日

[計算期間：2024年3月9日～2025年3月10日]

「豪ドル債券インカムマザーファンド」は、3月10日に第12期の決算を行いました。

以下、法令・諸規則に基づき、当マザーファンドの第12期の運用状況をご報告申し上げます。

運用方針	主として高格付の豪ドル建ての公社債に投資を行います。 投資にあたっては、オーストラリアの国債、政府機関債、AA一格相当以上の格付を有する州政府債および政府保証債等、ならびにオーストラリア以外のAA一格相当以上の格付を有する政府機関債および国際機関債等に分散投資を行います。 運用にあたっては、ポートフォリオの平均デュレーションを1年以上5年以内とします。 デュレーション調整等のため、債券先物取引等を利用する場合があります。 組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。
主要運用対象	豪ドル建ての公社債を主要投資対象とします。
主な組入制限	外貨建資産への投資割合に制限を設けません。

## ○最近5期の運用実績

決算期	基準価額	期騰落		債組入比率	債券率	債先物比率	券率	純資産額
		期騰	落					
8期(2021年3月8日)	円 11,558		% 25.2		% 96.5		% △1.6	百万円 73,999
9期(2022年3月8日)	11,433		△ 1.1		97.2		△4.5	54,848
10期(2023年3月8日)	11,967		4.7		97.6		—	47,100
11期(2024年3月8日)	13,363		11.7		98.0		—	42,536
12期(2025年3月10日)	13,221		△ 1.1		97.2		—	35,117

(注) 当ファンドの値動きを表す適切な指標が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

## ○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準 価 額	債組入比率	債券先物比率	券率	
				騰 落 率	%
(期 首) 2024年3月8日	円 13,363	% —	% 98.0		% —
3月末	13,501	1.0	97.2		—
4月末	13,943	4.3	98.0		—
5月末	14,161	6.0	97.8		—
6月末	14,617	9.4	98.0		—
7月末	13,729	2.7	97.5		—
8月末	13,770	3.0	97.7		—
9月末	13,856	3.7	95.1		—
10月末	14,028	5.0	98.3		—
11月末	13,730	2.7	97.7		—
12月末	13,869	3.8	98.2		—
2025年1月末	13,560	1.5	97.1		—
2月末	13,245	△0.9	96.2		—
(期 末) 2025年3月10日	13,221	△1.1	97.2		—

(注) 謄落率は期首比。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

## ○運用経過

## ●当期中の基準価額等の推移について

## ◎基準価額の動き

基準価額は期間の初めに比べ1.1%の下落となりました。

## 基準価額等の推移



## ●基準価額の主な変動要因

## (下落要因)

豪ドルが対円で下落したことなどが基準価額の下落要因となりました。

## ●投資環境について

## ◎債券市況

- ・豪州金利は、上昇しました。
- ・期間の前半においては、米国で消費者物価指数（CPI）が市場予想比上振れるなど、インフレへの懸念を背景に、豪州金利も上昇する局面がありました。その後、豪州でCPIの伸びが市場予想を下回ったことで、豪州準備銀行（RBA）による追加利上げへの警戒感が弱まったことや、米国で軟調な経済指標が発表されたことなどを背景に、豪州金利は低下しました。

- 期間の後半においては、RBAが2024年12月金融政策決定会合で引き締め姿勢を緩和したことを見に、短期ゾーン中心に金利が低下する局面もありましたが、米国および豪州で雇用統計が市場予想を上回るなど労働市場の底堅さが確認されたことや、米連邦公開市場委員会(FOMC)で今後の利下げについて慎重な姿勢が示されたことなどから豪州金利は上昇しました。
- なお、RBAは2025年2月中旬の理事会で基調的なインフレの鈍化などから利下げ実施を決定しました。

## ◎為替市況

- 豪ドルは対円で下落しました。
- 期間の前半において、RBAが政策金利を高水準に維持する一方、日銀が金融政策の正常化を慎重に進めていることなどから、本邦との金融政策の格差が意識され、豪ドルは対円で上昇しましたが、その後、日銀が2025年1月の金融政策決定会合で追加利上げを実施したことなどから、期間を通じて見ると豪ドルは対円で下落しました。

## ●当該投資信託のポートフォリオについて

### ◎組入比率

- 期間を通じて、豪ドル建ての債券現物の組入比率は高位を維持しました。

### ◎デュレーション

- ファンド全体のデュレーション（平均回収期間や金利感応度）は、豪州や米国などの金融政策、インフレ動向などを注視しながら操作しました。結果、期間末のデュレーションは2.9年程度となっています。

### ◎残存期間構成

- イールドカーブの傾きに注目するとともに、デュレーションを短期化する局面では短期ゾーンの組入比率を高めとし、長期化する局面では中長期ゾーンの組入比率を高めとしました。

### ◎債券種別構成

- 豪州国債に対する相対的なスプレッド（利回り格差）動向を睨みながら、債券種別構成を調整しました。当期間は、国債の組入比率を引き下げ、非国債の組入比率を引き上げました。

## ○今後の運用方針

### (組入比率)

- 安定した利子収益の確保をめざし、引き続き債券現物の高位組み入れを維持する方針です。
- (デュレーション)
  - 豪州の金融政策の方向性、グローバルな景気・インフレ動向を睨みながら、機動的に操作する方針です。

### (残存期間構成)

- デュレーションを長期化する局面では中長期ゾーンを、短期化する局面では短期ゾーンの組入比率を高めとする方針です。
- (債券種別構成)
  - 国債に対する相対的なスプレッド動向や市場のボラティリティ変動要因などに注視し、必要に応じて組入比率を調整する方針です。

## ○ 1万口当たりの費用明細

(2024年3月9日～2025年3月10日)

項目	当期		項目の概要
	金額	比率	
(a) その他の費用	円 1	% 0.010	(a) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
( 保 管 費 用 )	(1)	(0.010)	有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用
( そ の 他 )	(0)	(0.000)	信託事務の処理等に要するその他諸費用
合 計	1	0.010	
期中の平均基準価額は、13,854円です。			

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入しております。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入しております。

## ○ 売買及び取引の状況

(2024年3月9日～2025年3月10日)

## 公社債

			買付額	売付額
外 国	オーストラリア	国債証券	千オーストラリアドル 316,927	千オーストラリアドル 310,409 (107,000)
		地方債証券	19,687	3,917
		特殊債券	213,166	162,832 ( 28,000)

(注) 金額は受渡代金。(経過利子分は含まれておりません。)

(注) ( )内は償還等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

## ○利害関係人との取引状況等

(2024年3月9日～2025年3月10日)

## 利害関係人との取引状況

区分	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B	B A	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	D C
為替直物取引	—	—	—	7,286	3,124	42.9

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは三菱UFJ銀行、三菱UFJ信託銀行、モルガン・スタンレーMUF G証券です。

## ○組入資産の明細

(2025年3月10日現在)

## 外国公社債

## (A) 外国(外貨建)公社債 種類別開示

区分	当期末						
	額面金額	評価額		組入比率	うちBB格以下組入比率	残存期間別組入比率	
		外貨建金額	邦貨換算金額			5年以上	2年以上
オーストラリア	千オーストラリアドル 382,300	千オーストラリアドル 366,925	千円 34,124,084	% 97.2	% —	% 18.4	% 40.3
合計	382,300	366,925	34,124,084	97.2	—	18.4	40.3
							% 38.5

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注) 評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

## (B) 外国(外貨建)公社債 銘柄別開示

銘柄	当期末					償還年月日
	利率	額面金額	評価額		外貨建金額	
オーストラリア			外貨建金額	邦貨換算金額		
国債証券	1.75 AUST GOVT 321121	1.75	2,000	千オーストラリアドル 1,673	千円 155,674	2032/11/21
	2.25 AUST GOVT 280521	2.25	10,000	9,544	887,675	2028/5/21
	2.75 AUST GOVT 271121	2.75	9,000	8,767	815,388	2027/11/21
	2.75 AUST GOVT 281121	2.75	5,000	4,821	448,357	2028/11/21
	2.75 AUST GOVT 291121	2.75	19,000	18,087	1,682,113	2029/11/21
	3 AUST GOVT 331121	3.0	9,000	8,137	756,832	2033/11/21
	3.25 AUST GOVT 250421	3.25	10,000	9,989	929,021	2025/4/21
	3.25 AUST GOVT 290421	3.25	3,000	2,935	272,965	2029/4/21
	3.5 AUST GOVT 341221	3.5	4,000	3,716	345,602	2034/12/21
	4.75 AUST GOVT 270421	4.75	15,000	15,296	1,422,607	2027/4/21
地方債証券	AUSTRALIA T-BILL 250314	—	5,000	4,996	464,634	2025/3/14
	1.25 AUST CAPITAL 250522	1.25	9,000	8,949	832,303	2025/5/22

銘柄	利率	額面金額	当期末		
			外貨建金額	邦貨換算金額	償還年月日
%	千オーストラリアドル	千円			
オーストラリア					
地方債証券	5.25 AUST CAPITAL 361023	5.25	7,000	6,938	645,310 2036/10/23
特殊債券	0.5 VICTORIA 251120	0.5	2,000	1,954	181,777 2025/11/20
	1.25 NEWWALES 250320	1.25	5,000	4,996	464,671 2025/3/20
	1.25 VICTORIA 271119	1.25	10,000	9,312	866,016 2027/11/19
	1.41 BNG BANK NV 310728	1.41	3,000	2,405	223,721 2031/7/28
	1.5 VICTORIA 301120	1.5	13,000	11,088	1,031,228 2030/11/20
	1.75 NEWWALES 340320	1.75	10,000	7,652	711,636 2034/3/20
	2 QUEENSLAND 330822	2.0	5,000	3,985	370,656 2033/8/22
	2 VICTORIA 350917	2.0	5,000	3,695	343,658 2035/9/17
	2.15 KFW 250825	2.15	5,000	4,954	460,792 2025/8/25
	2.25 NEDER WATERS 250904	2.25	5,000	4,950	460,393 2025/9/4
	2.39 IBRD 311208	2.39	5,000	4,268	397,012 2031/12/8
	2.5 VICTORIA 291022	2.5	5,000	4,634	431,045 2029/10/22
	2.75 SOUTH AUST G 250416	2.75	2,000	1,997	185,740 2025/4/16
	2.9 EUROPEAN INVE 251017	2.9	7,000	6,947	646,110 2025/10/17
	3 NEWWALES 280320	3.0	20,000	19,435	1,807,492 2028/3/20
	3 NEWWALES 290420	3.0	10,000	9,580	890,967 2029/4/20
	3 NEWWALES 300220	3.0	3,000	2,831	263,306 2030/2/20
	3 SOUTH AUST GOVT 260720	3.0	15,000	14,821	1,378,441 2026/7/20
	3 SOUTH AUST GOVT 280524	3.0	5,000	4,850	451,087 2028/5/24
	3 VICTORIA 281020	3.0	15,000	14,455	1,344,333 2028/10/20
	3 WEST AUST TREAS 261021	3.0	10,000	9,869	917,891 2026/10/21
	3.1 IADB 280222	3.1	5,000	4,868	452,751 2028/2/22
	3.2 KFW 260911	3.2	3,000	2,965	275,771 2026/9/11
	3.25 BNG BANK NV 250715	3.25	2,000	1,993	185,353 2025/7/15
	3.25 QUEENSLAND 260721	3.25	19,000	18,836	1,751,786 2026/7/21
	3.25 TASMANIAN PU 260219	3.25	5,000	4,965	461,814 2026/2/19
	3.3 ASIAN DEV 280808	3.3	5,000	4,872	453,105 2028/8/8
	3.45 NEDER WATERS 280717	3.45	10,000	9,761	907,856 2028/7/17
	3.5 QUEENSLAND 300821	3.5	3,000	2,873	267,248 2030/8/21
	3.6 INTL FINAN 260224	3.6	5,000	4,979	463,121 2026/2/24
	3.7 ASIAN DEV 250617	3.7	5,000	4,992	464,332 2025/6/17
	3.75 NORTHERN TER 330421	3.75	2,000	1,815	168,869 2033/4/21
	4 AUSTRALIAN POST 261201	4.0	3,000	2,976	276,804 2026/12/1
	4 INTL FINANCE CO 250403	4.0	5,000	4,999	464,938 2025/4/3
	4.25 INTL BK RECO 250624	4.25	10,000	10,000	930,009 2025/6/24
	4.4 IBRD 280113	4.4	3,000	3,027	281,513 2028/1/13
	4.45 INTL FINAN 300117	4.45	5,000	5,032	468,008 2030/1/17
	4.75 NEWWALES 350220	4.75	5,000	4,868	452,793 2035/2/20
	4.75 QUEENSLAND 250721	4.75	5,000	5,012	466,133 2025/7/21
	5 AIRSERV AUST 310515	5.0	2,300	2,326	216,342 2031/5/15
	5.25 NORTHERN TER 340321	5.25	4,000	3,982	370,381 2034/3/21
	5.5 VICTORIA 261117	5.5	9,000	9,233	858,678 2026/11/17
合計					34,124,084

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

## ○投資信託財産の構成

(2025年3月10日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
公社債	千円 34,124,084	% 95.1
コール・ローン等、その他	1,764,485	4.9
投資信託財産総額	35,888,569	100.0

(注) 期末における外貨建純資産（35,052,508千円）の投資信託財産総額（35,888,569千円）に対する比率は97.7%です。

(注) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したもので、なお、期末における邦貨換算レートは以下の通りです。

1 オーストラリアドル=93.00円		
--------------------	--	--

## ○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2025年3月10日現在)

項目	当期末
(A) 資産	円
コール・ローン等	35,888,569,082
公社債(評価額)	652,970,602
未収入金	34,124,084,189
未収利息	792,045,661
前払費用	255,550,066
差入委託証拠金	39,822,600
(B) 負債	24,095,964
未払金	771,433,497
未払解約金	662,926,320
(C) 純資産総額(A-B)	108,507,177
元本	35,117,135,585
次期繰越損益金	26,562,212,628
(D) 受益権総口数	8,554,922,957
1万口当たり基準価額(C/D)	26,562,212,628円
	13,221円

## &lt;注記事項&gt;

- ①期首元本額 31,830,748,133円  
 期中追加設定元本額 84,414,262円  
 期中一部解約元本額 5,352,949,767円  
 また、1口当たり純資産額は、期末1,3221円です。

## ②期末における元本の内訳 (当親投資信託を投資対象とする投資信託ごとの元本額)

- 三菱UFJ 豪ドル債券インカムオーブン 25,514,088,611円  
 三菱UFJ 豪ドル債券インカムオーブン(年1回決算型) 1,048,124,017円  
 合計 26,562,212,628円

## ○損益の状況 (2024年3月9日～2025年3月10日)

項目	当期
(A) 配当等収益	円
受取利息	1,273,732,150
その他収益金	1,273,687,542
支払利息	44,973
(B) 有価証券売買損益	△ 365
売買益	△ 1,385,124,909
売買損	706,987,941
(C) 保管費用等	△ 2,092,112,850
(D) 当期損益金(A+B+C)	△ 3,864,972
(E) 前期繰越損益金	△ 115,257,731
(F) 追加信託差損益金	10,705,781,740
(G) 解約差損益金	31,170,693
(H) 計(D+E+F+G)	△ 2,066,771,745
	8,554,922,957
	次期繰越損益金(H)
	8,554,922,957

(注) (B) 有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注) (F) 追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) (G) 解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。